

大分県長期漁海況予報

〔平成 23(2010)年 1月～8月までの海水温・漁模様の見通し〕



大分県農林水産研究指導センター水産研究部

879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦 194-6

Phone0972-32-2155 Fax.0972-32-2156 <http://www.mfs.pref.oita.jp>

海況経過<平成 22年 9～12月>

■黒潮

都井岬では9月に「やや離岸」、10月に「接岸」、11月に「やや離岸」、12月「かなり離岸」で推移しました。足摺岬では9月に「やや離岸」、10月に「接岸」、11月に「接岸からやや離岸」、12月に「やや離岸」で推移しました。

■水温

豊後水道の水温(0～75m層)は、概ね「平年並み」から「やや高め」で推移しました。9月と10月は「やや高め」、11月と12月は「平年並み」でした(図2)。

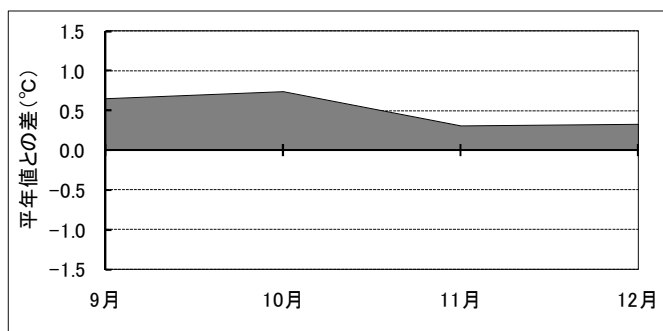


図2 豊後水道における水温の平年値との差(0～75m層の平均値)

■塩分

豊後水道の塩分(0～75m層)は、概ね「平年並み」で推移しました。9月から12月まで「平年並み」でした。(図3)。

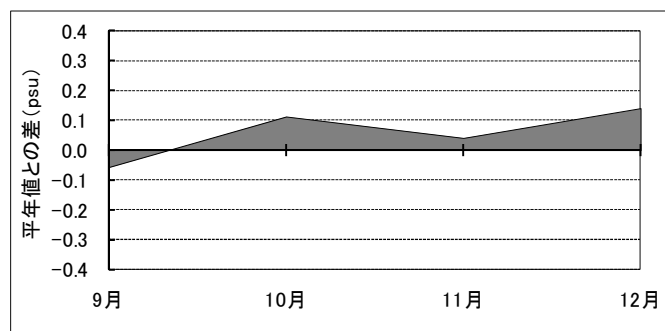


図3 豊後水道における塩分の平年値との差(0～75m層の平均値)

今後の海況の見通し＜平成 23 年 1～8 月＞

■黒潮

黒潮は、都井岬沖の小蛇行形成に伴い 1 月から 3 月まで離岸傾向となり、その後は接岸傾向で推移するでしょう。足摺岬沖では、接岸傾向ですが、都井岬沖の小蛇行の東進に伴い離岸し、その後、接岸傾向となるでしょう。(図 4)

■沿岸水温

「平年並み」で推移するでしょう。

■予測の説明と根拠

- ・黒潮流路予測は平成 22 年度第 2 回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係府県:2010)に従いました。
- ・沿岸水温は気温の影響を強く受けると考えられるため、福岡管区気象台の「九州北部地方3ヶ月予報」では、2～4月の平均気温は「低め30%、平年並み40%、高め30%」と予測していることから、そのように予測しました。

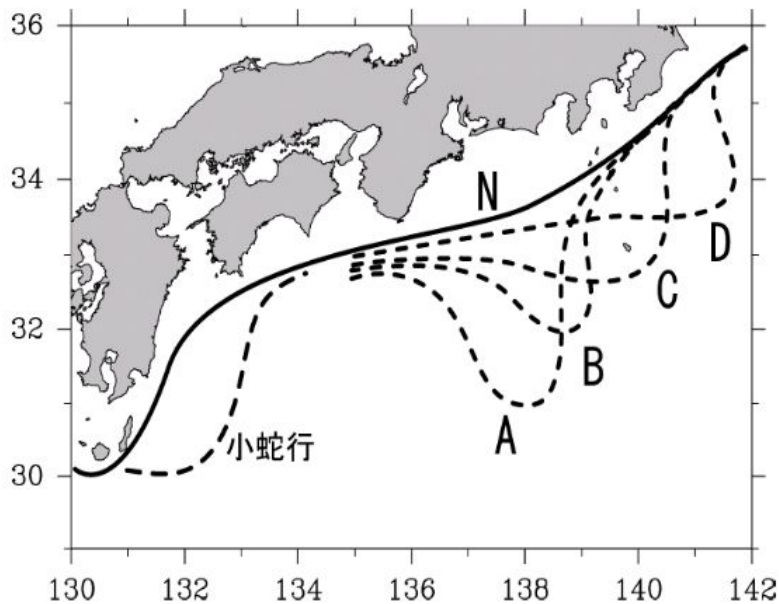


図 4 黒潮流型の分類

※上図は平成 22 年度第 2 回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報(水産庁プレスリリース資料)より引用

■マイワシ

2010年8～12月の漁況経過

2010年8～12月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマイワシの漁獲量は、8月に0.913トン、9月に0.024トン、10月に0.008トン、11月に2.5トン、12月には0.029トンの計3.4トンでした。前年比190%、(用語解説①) 平年比0.24%と、前年を上回り、平年を大きく下回っていました。

なお、(用語解説②) 近隣海域でも前年を上回り、平年を下回る漁となっています。

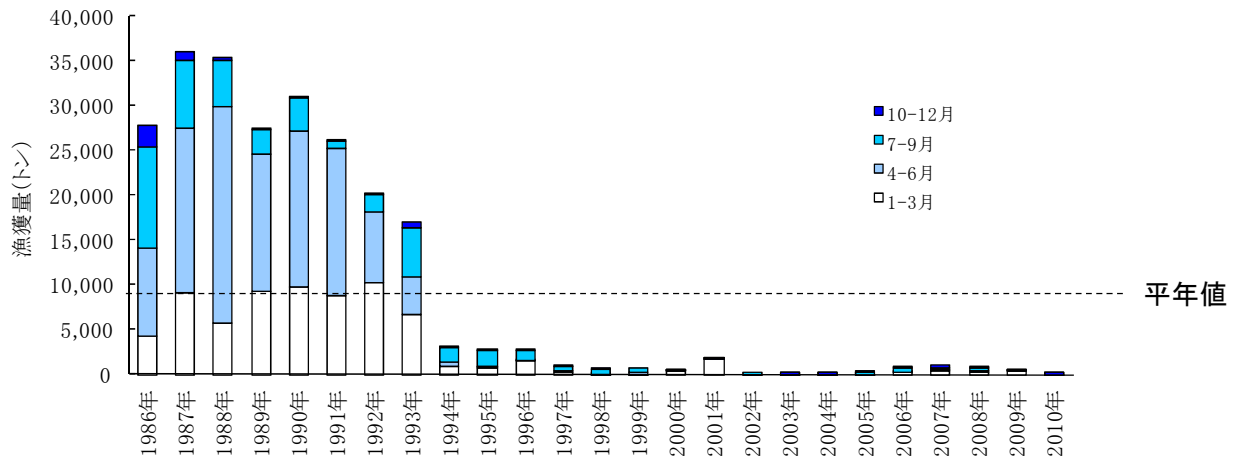


図5 マイワシのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<平成23年1～8月>

来遊水準:

豊後水道への来遊量は依然として低水準で、前年を下回るでしょう。



漁獲対象年級群及び体長:

1～3月は被鱗体長(用語解説③)19cm前後の1歳魚が主体で、4～6月から被鱗体長7～12cm前後の0歳魚が漁獲対象となるでしょう。

【説明】

予測期間中は2010年級群(1歳魚)が漁獲主体となる。2010年級群が漁獲主体であった2010年4～12月のまき網漁獲量が前年を下回った(前年比52%)こと、熊野灘南部及びそれ以西の海域においても本県と同様であることから、来遊量は2009年級群(前年1歳魚)を下回ると考えられます。

また、4～6月の漁獲主体となる0歳魚(2011年級群)の来遊量については、現段階では不明ですが、1980年代のような高水準は考えにくいでしょう。

以上のことから判断して、来遊水準は依然として低水準で、漁獲量は前年を下回ると予測します。

■カタクチイワシ(成魚)

□2010年8～12月の漁況経過

2010年8～12月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるカタクチイワシの漁獲量は、8月に110.7トン、9月に146.2トン、10月に360.0トン、11月に45.6トン、12月5.9トンの計668.3トンでした。前年比57%、平年比84%と、前年及び平年を下回る不漁となりました。

漁獲の主体は、被鱗体長8～12cm前後の1歳魚(2009年級群)と被鱗体長8cm以下の当歳魚(2010年級群)が混じりました。

なお、近隣海域でも不漁となっています。

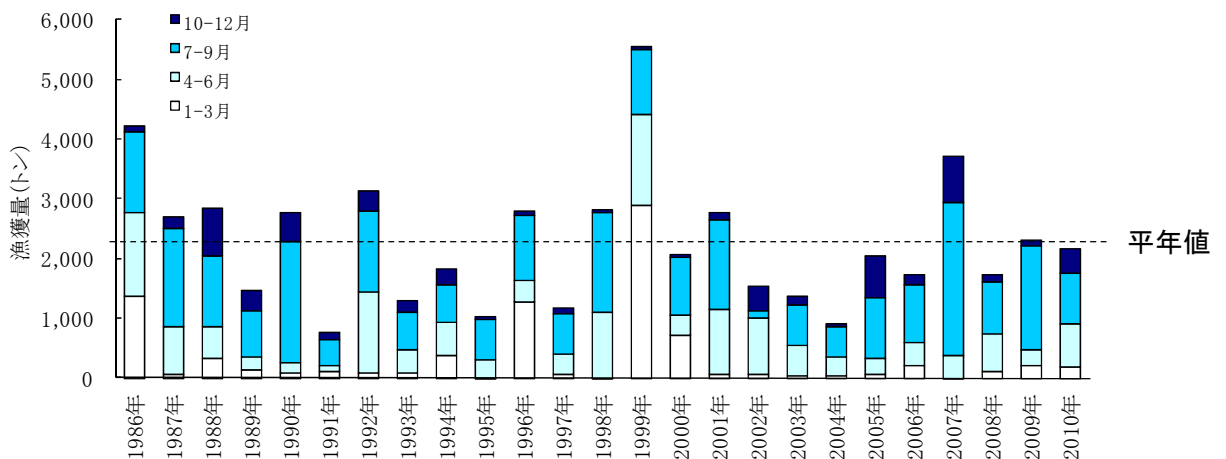


図6 カタクチイワシのまき網における漁獲量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<平成23年1～8月>

来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年並みか前年を下回るでしょう。



漁獲対象年級群及び体長:

1～5月は7～12cm前後の1歳魚が主体で、6月以降は6cm前後の0歳魚(2011年級群)が1歳魚に混じるでしょう。

【説明】

予測期間中は2010年級群(1歳魚)が漁獲主体となる。2010年級群が漁獲主体であったまき網においては漁獲量が前年を下回った。一方、佐伯湾におけるシラス漁が前年を上回り、カタクチイワシの卵・稚仔の出現状況(2009年及び2010年について別紙に示す)について、2010年の卵及び仔魚の平均採集量が前年を上回りましたが、本県の漁況及び2010年級群の資源水準は過去10年の中で見れば中～低水準であるとの中央水産研究所の報告から、来遊量は前年並みか前年を下回ると考えられます。

以上のことから判断して、漁獲量は前年並みか前年を下回ると予測します。なお、0歳魚(2011年級群)の来遊水準については、現段階での予測は困難です。

■ウルメイワシ

□2010年8～12月の漁況経過

2010年8～12月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるウルメイワシの漁獲量は、8月に229.7トン、9月に221.3トン、10月は漁獲なし、11月に57.3トン、12月に0.8トンの計509.1トンでした。前年比33%、平年比143%と、前年を下回り、平年を上回る漁となりました。

漁獲の主体は12～14cmの0歳魚(2010年級群)であり、主に豊後水道で漁獲されました。なお、近隣海域では漁獲が前年を下回っている傾向にあります。

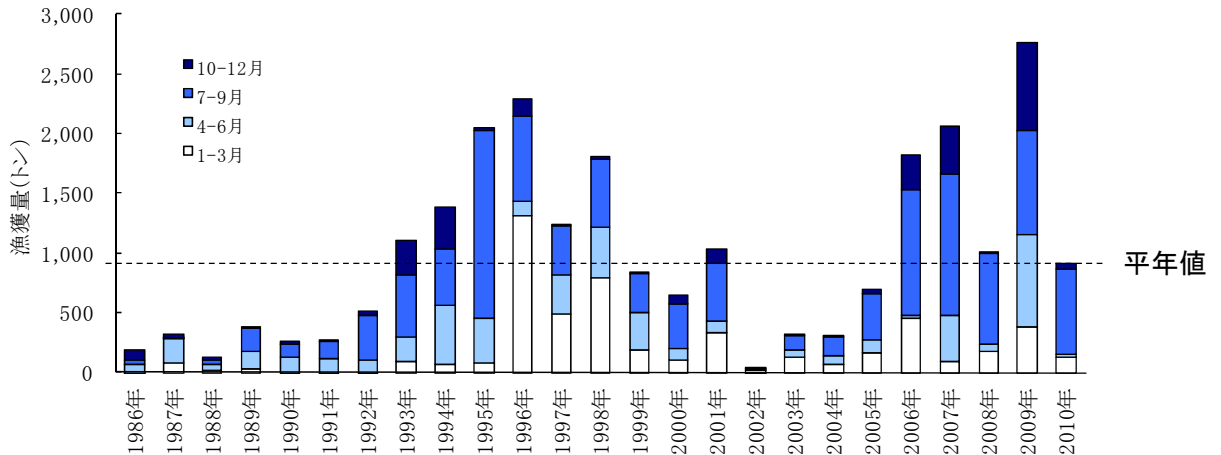


図7 ウルメイワシのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<平成23年1～8月>

来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を下回るでしょう。



漁獲対象年級群及び体長、漁期、漁場:

1～3月は被鱗体長20cm前後の1歳魚が主体で、4～6月は被鱗体長5～12cmの0歳魚が漁獲対象となるでしょう。

【説明】

1～3月は2010年級群(1歳魚)が漁獲の主体となる。2010年級群が漁獲の主体だった2010年4～12月のまき網漁獲量が前年を下回ったこと(前年比34%)、また、全国的にみても2010年の年間漁獲量が2009年と比較し大幅に少ないことから(1～11月:前年比71%)、2010年級群は前年1歳魚(2009年級群)の資源量を下回ると考えられます。

以上のことから判断して、漁獲量は前年を下回ると予測します。なお、0歳魚(2011年級群)の来遊水準については、現段階での予測は困難です。

■マアジ

□2010年4～7月の漁況経過

2010年8～12月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマアジの漁獲量は、8月に28.5トン、9月に64.3トン、10月に15.8トン、11月に53.3トン、12月15.7トンの計177.6トンでした。前年比43%、平年比12%と、前年・平年を大幅に下回る漁となりました。漁獲の主体は尾又長^(用語解説④)12～14cm前後の0歳魚(2010年級群)でした。

なお、近隣海域でも不漁でした。

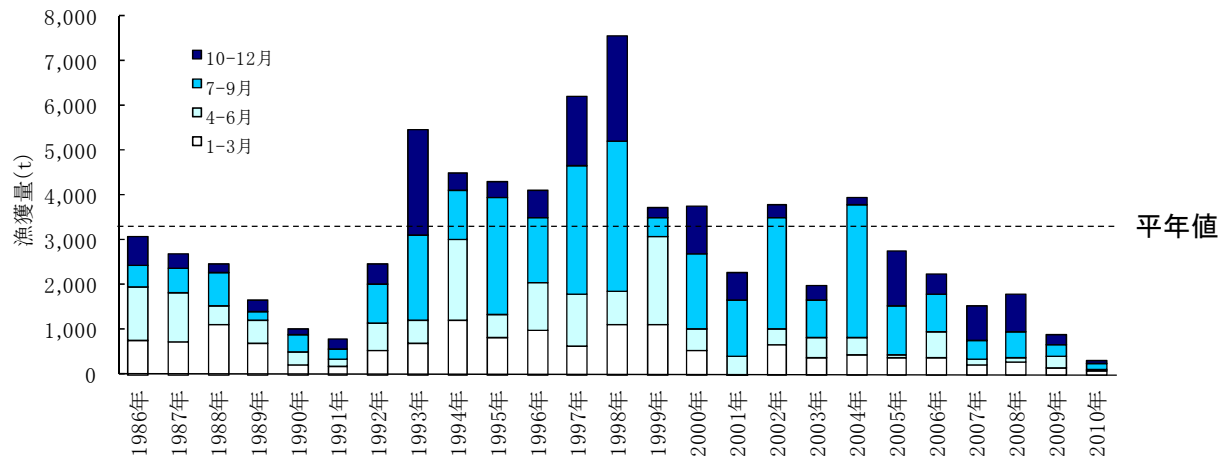


図8 マアジのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<平成23年1～8月>

来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を下回るでしょう。



漁獲対象年級群及び体長:

15～20cm前後の1歳魚が漁獲の主体で、2歳魚以上(20cm以上)が混じる。5月以降に0歳魚が混じるでしょう。

【説明】

1～6月は2010年級群(1歳魚)が漁獲主体となる。2010年級群が漁獲の主体だった2010年8～12月のまき網漁獲量が前年を下回ったこと(前年比44%)、その年の加入量水準の指標と考えられる2010年4月から6月の日向灘南部定置網への0歳魚入網量(宮崎水試)が前年の約半分に留まったことから、2010年級群は前年1歳魚(2009年級群)の資源量を下回ると考えられます

以上のことから判断して、漁獲量は前年を下回る程度と予測します。なお、0歳魚(2011年級群)の来遊水準については、現段階での予測は困難です。

■サバ類

□2010年8～12月の漁況経過

2010年8～12月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるサバ類の漁獲量は、8月に732.2トン、9月に716.7トン、10月に875.0トン、11月に243.5トン、12月123.7トンの計2,691トンでした。前年比142%、平年比99%と、前年を上回り、平年並みの漁となりました。漁獲の主体はゴマサバで、判別ができた個体のうち、77%がゴマサバで23%がマサバでした。

近隣海域は、宮崎県は前年及び平年を上回りましたが、愛媛県と高知県は前年及び平年を下回りました。いずれもゴマサバ主体でした。

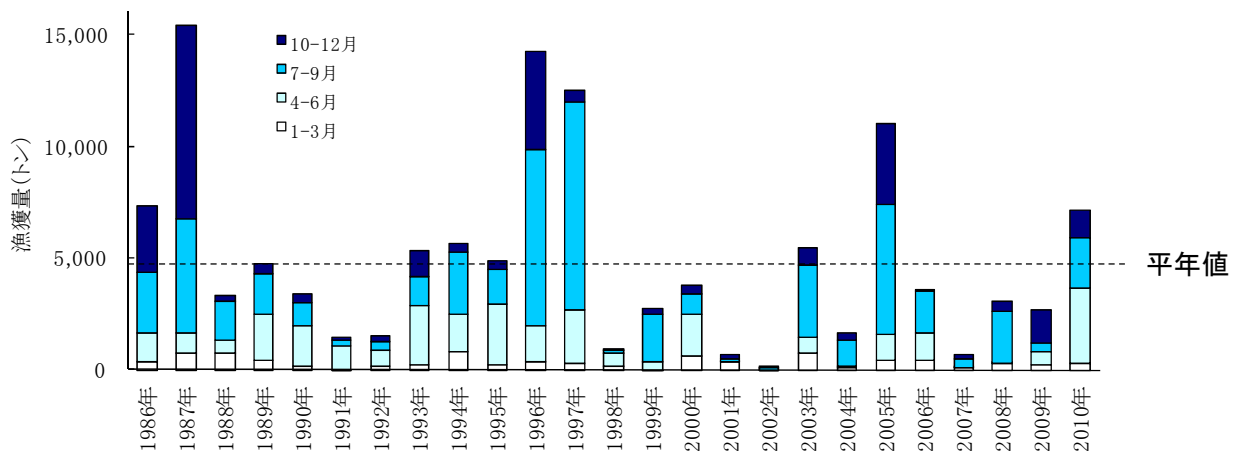


図9 サバ類(マサバ・ゴマサバ)のまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<平成23年1～8月>

来遊水準:

豊後水道への来遊量は、ゴマサバ主体に前年を上回るでしょう。



漁獲対象年級群及び体長:

1～3月はゴマサバ2歳魚主体に、3歳魚以上の大型のゴマサバが混じる。4月以降は1～2歳魚の他、内湾域で0歳魚が加わるでしょう。

【説明】

近年の調査結果によれば、1～6月は25～35cm(1歳以上)のゴマサバがわずかに漁獲される傾向があり、6月以降に1～2歳魚が本格的に来遊し漁獲量が急増する傾向にあります。なお、2010年については特異的に5月から大規模な来遊がみられました。

予測期間中は2009年級群(2歳魚)が漁獲主体となる。漁況経過をみると、例年1～2歳魚が漁獲主体となる6～9月のまき網漁獲量はゴマサバを主体として、前年を大きく上回りました(前年比1,025%)。2009年級群のゴマサバは卓越年級群として全国的に高い加入水準を示しており、今後も漁獲が期待されることから判断して、予測期間中の漁獲量はゴマサバ主体に前年を上回ると予測します。

その他

■予測の根拠および参考資料

・平成22年度第2回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係府県:2010)

■用語解説

- ①平年比：1986～2009年までの比
- ②近隣海域：ここでは、3県（宮崎県・愛媛県・高知県）の海域とする。
- ③被鱗体長：体の前端から、尾柄の鱗で覆われている部分の後端までの直線距離。
- ④尾叉長：体の前端から、尾びれの湾入部内縁中央(くびれている部分)までの直線距離。

■問い合わせ先

この予報に関する問い合わせ先は、大分県農林水産研究指導センター水産研究部 栽培資源チームまで。

〒879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦194-6

電話:0972-32-2155

FAX:0972-32-2156